

開講日	2017年春期 水曜日 18:30-20:00	講義場所	研究棟11階 講義室A
コースディレクター	名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 教授 飯田 真介		

科目概要 および 期待される 成果	がんは人口の高齢化にともない増加傾向にあり、我が国の死因の第1位を占めています。我が国で、2012年に新たにがんと診断された方は86.5万人、2014年のがんによる死亡者は36.8万人です。生涯にがんを罹患する確率は男性で63%、女性で47%と高頻度です。このように、誰もががんと直面しなければならない時代になり、医療従事者としても、がんの診断と治療に関して最新の知識を有しておく必要があります。学びなおし講座「臓器別がんの診断と最新治療」においては、がんの疫学的動向と最近実用化されたがんの免疫療法について学んだ上で、各臓器の主要ながんの診断から最新の治療法までを学んでいただきます。		
目標とする 資格			

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
L-1	1	がん診療の今と希少がん診療	チーム医療等、近年のがん診療の総論、希少がん(特に、原発不明がん、肉腫)の診療の現状と進歩について。	4月12日	准教授・部長 小松弘和 名古屋市立大学病院 化学療法部
L-2	2	がん免疫療法はどこまで期待できるか	がん免疫療法の一部が保険採用された。従来の免疫療法と何が異なり、どこまで効果が期待されるのか。今後のがん治療はどのように変革していくのであろうか。	4月19日	教授 上田龍三 愛知医科大学医学部 腫瘍免疫寄附講座
L-3	3	がんの疫学、最近の動向	各種がんの罹患率・死亡率とその危険因子などについて、最新のがんの疫学研究の成果からデータを交えて解説する。	4月26日	助教 玉井裕也 名古屋市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学
L-4	4	胃がんの予防、診断、治療	日本は世界的にも胃がんの多発国として知られている。最新のがん統計によれば、死亡数は第3位(1位肺がん、2位大腸がん)、罹患率は第2位(1位大腸がん)で、日本人にとって克服すべきがん種である。本セミナーでは胃がんの一次予防、二次予防から、最新の胃がんの診断法、内視鏡手術、外科的手術、そして最新の化学療法を含めた治療法を解説する。	5月10日	准教授・センター長 片岡洋望 名古屋市立大学病院 内視鏡医療センター
L-5	5	食道がんの診断と治療	食道がんの最新の診断、治療についての基礎知識をわかりやすく解説します。手術のビデオもお見せして理解を深めます。	5月17日	准教授 石黒秀行 名古屋市立大学病院 中央手術部
L-6	6	乳がん診療の最前線	乳がんについて医療従事者として知っておきたい基礎知識と最新医療について学習する。特に乳がんの診断方法とがんのタイプに応じた適切な治療方法について理解する。	5月24日	教授 遠山竜也 名古屋市立大学大学院医学研究科 乳腺外科学
L-7	7	肝・胆・膵領域のがんの診断と治療	肝臓や膵臓は沈黙の臓器と言われ、そこにできる癌は早期発見が難しく、治療も複雑です。肝胆膵領域の癌の特徴と治療法をわかりやすく解説します。	5月31日	准教授 松尾洋一 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学
L-8	8	造血器腫瘍の診断と治療	白血病・悪性リンパ腫・骨髄腫などの造血器腫瘍は、人口高齢化に伴い罹患率と死亡者数の増加を示しています。分子標的療法や免疫療法などの進歩について理解を深めます。	6月7日	教授 飯田真介 名古屋市立大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学
L-9	9	小児固形腫瘍の診断と治療	小児の固形腫瘍は多岐にわたる。小児固形腫瘍の特徴と、各疾患の診断から治療までを概略する。	6月14日	助教 伊藤康彦 名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学
L-10	10	進行期非小細胞肺癌の治療戦略	抗癌剤治療に加え、分子標的治療薬の登場が個別化医療の道を開き、さらに免疫療法の登場により、進行期非小細胞肺癌の治療戦略が大きく変わろうとしています。	6月21日	准教授 小栗鉄也 名古屋市立大学大学院医学研究科 呼吸器・免疫・アレルギー内科学
L-11	11	頭頸部がんの診断法と最新の治療方針	頭頸部がん特に舌がん、咽頭喉頭がんの最新の診断法、手術、化学放射線療法の進歩、また治療後の合併症とその対策についてをお示しします。	6月28日	病院講師 伊地知圭 名古屋市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学
L-12	12	最近の脳腫瘍の治療	脳腫瘍の総論の概要と治療法、特に最近その進展が著しい領域に関して講義します。脳実質内腫瘍の最大限の摘出のための覚醒下脳機能マッピングの基本と当院で行っている応用に関して、また最近適応が拡大されて来ている内視鏡手術、特に基本の経鼻手術、シリンダー手術、さらには当院で取り組んでいる経鼻による頭蓋底腫瘍摘出術やこれまで顕微鏡下で行われていたものへの適応による低侵襲化に関して説明します。	7月5日	講師 谷川元紀 名古屋市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学
L-13	13	昨今の卵巣癌の取り扱いや治療	近年、卵巣癌の発生や分類に対する考え方が変遷してきており、また新たな治療や管理手段も考案されている。それ等について解説する。	7月12日	病院准教授 荒川敦志 名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科学
L-14	14	大腸がんの診断と最新治療	大腸癌は近年増加の一途をたどっており、消化器がんの中で最もポピュラーな疾患の一つになってきました。腹腔鏡手術などの手術を中心に現在の大腸がんの診断と治療法について説明をします。	7月19日	准教授 高橋広城 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科学
L-15	15	泌尿器科がんの薬物・手術治療今昔物語	腎癌・膀胱癌・前立腺癌に対する新しい分子標的薬や免疫療法の効果と役割を理解する。ロボット手術を中心に最新の手術を理解する。	7月26日	講師 河合憲康 名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学